

シラバス

「シラバス」とは、授業で扱う内容（授業の概要）とその授業の到達目標、その授業をとおして獲得できる学士力、授業の進め方、評価の仕方など、授業の全体像を示す文書のことです。履修登録を行うにあたり、科目選択の基準としてシラバスを活用してください。また、履修にあたって、その日の授業の位置付け、授業の目的、到達目標などを、「シラバス」で繰り返し確認することにより、授業の学習効果を高めることができます。

各授業科目の「シラバス」は Web で公開しています。「シラバス」は新学期の履修登録に先立って提示され、授業期間中をとおして公開されています。

閲覧する場合は、UNITAMA にアクセスしてください。



①履修登録メニューからシラバス照会にカーソルを合わせてクリック

②シラバス検索画面が表示されるので、科目名称(教員氏名等の項目でも可)を入力して「検索」ボタンをクリック

シラバス検索 > 検索結果

検索条件 開講: 2010年度
科目名称: 英語

開講曜日	科目名	教員氏名	開講区分	学年	開講学期	単位数
月5月6	1400117 英語史(経共通)	書木 敦男	週間授業	2年	2010春学期	2単位
月5月6	15400121 英語史(経共通)	書木 敦男	週間授業	2年	2010秋学期	2単位

③検索したいシラバスにカーソルを合わせてクリック

シラバス検索 > 検索結果 > シラバス照会

授業コード: 1400117 配当学年: 2

科目名称: 英語史(経共通)

担当教員: 書木 敦男

開講学期: 2010年度 春学期 単位数: 2

開講曜日: 月曜5限, 月曜6限 教室名:

授業の概要: ゲルマン人であるアングロ・サクソン人が5世紀中頃に英語をブリテン島に持ちこんでから、英語が文献に登場するまで約1200年の歳月を要した。7世紀の文献に現われたこの頃の英語は古英語と呼ばれ、文法、語彙、スペリング、発音の点で現代英語とは著しく異なっており、むしろ今日のドイツ語と類似点が多々見られる。現代英語の祖先である古英語は、英語の母語者にとっても、また英語を母語としない人たちにとっても外国語のように思われるはずである。英語の歴史は、大きく三つの時代に分けられる。即ち、屈折語尾により文法関係を表した古英語の時代、徐々に屈折語尾が水平化された中英語の時代、そして屈折語尾の消失に伴い、語順が確立されるに至った近代英語の時代に分けられる。講義の前半では、古英語時代の発音、文法等を扱う。講義の後半では、実際に古英語で書かれている文献(散文)を精読する。

到達目標: 古英語の基本的な文法を理解し、テキストの巻末にしている glossary (語彙解説) を引きながら、独力で古英語の文献精読ができる力を身につけることを到達目標とする。

学士力(授業を通して獲得できる力)

知識・理解(文化、社会、自然等) 汎用的技能(コミュニケーションスキル、数量的スキル、問題解決能力等) 態度・志向性(自己管理能力、チームワーク、倫理観、社会的責任等)

総合的な学習経験と創造的思考力 そのほか獲得できる力

テーマ	内容	学習課題
1 講義全体ガイダンス	1 講義全体ガイダンス	1
2 古英語の発音	2 古英語の母音(vowel)、子音(consonant)を学ぶ	2 指定された箇所を予習しておくこと
3 名詞の屈折	3 名詞の弱屈折(weak declension)、強屈折(strong declension)、小屈折(minor declension)を学ぶ	3 指定された箇所を予習しておくこと

④シラバスが表示されます。印刷したい場合は「印刷」ボタンをクリックしてください。